



学校教育目標

私は変わる みんなと変わる 未来を変える
～あったかランド 神岡笑楽校～

今日は、ライト兄弟が人類初の有人動力飛行に成功した日です。
(1903年の今日、フライヤー号が36メートルの距離を12秒で飛行しました。)

神岡小学校コミュニティ・スクール通信

【No.33】令和6.12.17(火)発行

本校は今年度から、コミュニティ・スクールとしてスタートしています。

PTA授業参観・研修会・学年懇談(12/10)たくさんのご参加ありがとうございました

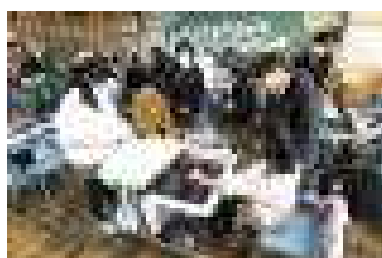
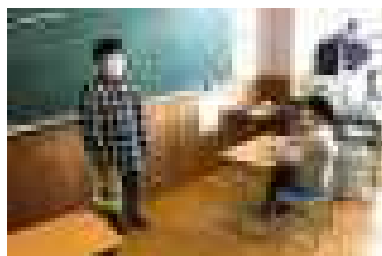
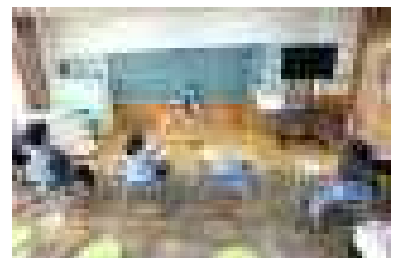
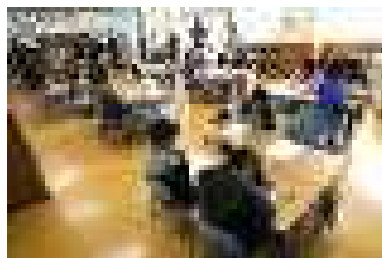
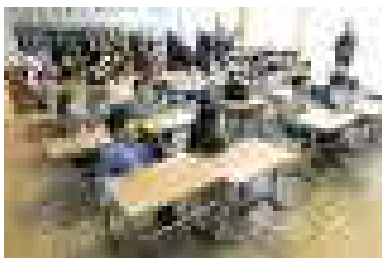
PTA研修会では、昨年度に引き続き、臨床心理士の〇〇〇〇〇氏を講師にお招きし、「感情コントロールの力を育てるための関わり」をテーマに講演していただきました。

感情コントロールの力とは、嫌な気持ち(恐怖や不安、痛み等)になっても、嫌な気持ちを安全に抱えて、嫌な気持ちのままにいられる力のことです。これを身に付けることで、暴れたり逃げ出したりせず、嫌な気持ちを感じながらも、目の前のことに取り組むことができるようになります。

感情は体の中からわき上がってくるエネルギーであり、生理現象です。子どもに「泣くな」と言うことは、「汗をかくな」と言うのと同じだそうです。体を流れるエネルギーが何なのか、子どもは最初は分からないそうですが、身近な大人が、エネルギーにフィットした声かけをすることで、「エネルギー」と「感情の名前」が結びつきます。例えば、子どもが「うれしい」と話したとき、母親が「うれしいねえ、よかったねえ」と声かけすることで、子どもの身体感覚が母親と共有できるものになり、感情が安心でくるまれるそうです。このような経験を積み重ねることで、感情コントロールの力が育っていきます。

感情コントロールの力を育てる関わりの例を挙げると、「①ネガティブな感情がわき上がってきた場面で」「②子どもは思いっきり自由に感情表現して」「③大人が『怖かったね』『悲しかったね』とよしよし」する、このような子どもの感情が安心でくるまれる経験をたくさんすることで、感情コントロールの力が高まるとのことでした。

紙面の関係で一部しか紹介できませんが、お話を聞いた保護者の皆様からは「子どもがネガティブな発言(嫌だ、だめだ、面倒くさい等)をすると、否定するところから入ってしまうが、受け止めることを意識して接していきたい。」「私も、負の感情が子どもから出てくると、どうしても押さえ付けがちだったので、とても反省した。感情コントロールの力は、何年生からでも育っていくのか。(→何歳からでも、大人になってからでもOKとのこと)」等の感想や質問がありました。また、今回の研修会は、進行や講師紹介等、PTA教育総務部の皆様が担当してくださいました。ありがとうございました。



6年生 薬物乱用防止教室 (12/10) 学校薬剤師の〇〇〇〇先生にご指導いただきました

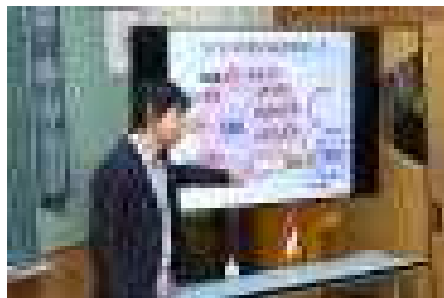
薬物乱用防止教室は、「薬物乱用の危害に対する正しい知識を身に付けさせ、児童が薬物乱用の現状や心身への弊害等を身近な問題と捉え、薬物の誘惑に対する対処法を身に付ける」ことをねらいとし、毎年6年生を対象に実施しています。

講師の〇〇先生からは、「薬物乱用とは、法律で禁止されている薬物を、自分の判断で手に入れて、使ってしまうこと」「覚醒剤や大麻、ヘロイン、アヘン、コカイン等は、持っているだけでも罰せられ、懲役刑など厳しい罰則があること」「病院で使われる向精神薬や睡眠薬も、他の人に渡したり勝手に使ったりすると、薬物乱用になること」「危険ドラッグ等を使う人は、未成年のうちに酒やタバコに手を出して、それから危険ドラッグ等を使うというルートをとることが多く、酒やタバコは、『ゲートイン・ドラッグ(薬物利用の入口)』とも言われていること」等のお話がありました。

また、薬物乱用に陥らないために家庭で留意した方がよいこととして、次のようなお話がありました。

- ① 「適度な運動」「栄養バランスのとれた食事」「十分な睡眠」で、健康な毎日を過ごさせる。
- ② 未成年のうちは、絶対に酒やタバコを勧めない。
- ③ 子どもに悲しいことや不安なことがあったときに、悩みを打ち明けやすい雰囲気をつくっておく。

お話を聞いた子どもたちは、「タバコやお酒、そして様々な薬物の危険性が分かった。運動や食事、十分な睡眠に留意して、健康な毎日を過ごそうと思った。」「薬物は意外と身近なところにあるので、薬局でも手に入るのだから、薬を飲むときは説明書をよく見て使用したい」等と感想を述べていました。



薬物乱用のきっかけは、「好奇心」や「不安」「友達から誘われた」「仲間はずれが怖くて」などの気持ちの面が挙げられるそうです。今回のお話を忘れずに、危険ドラッグ等とは無縁の健康な生活が送れるよう願っています。

1年生がだけっこ園「ゆい組(5歳児)」の皆さんと交流しました (12/12)

1年生が、生活科「いっしょにあそぼう」の学習で、だけっこ園のゆい組の皆さんを招待し、一緒に活動しました。1年生は、ゆい組の皆さんに喜んでもらおうと、「じゃんけん列車」「読み聞かせ」「的当てゲーム」の3つを準備しました。



「じゃんけん列車」は、音楽に合わせて友達とじゃんけんをして、負けた人が勝った人の後ろについて列を作っていくゲームですが、お互いにじゃんけんをしてつながっていく中で、みんな笑顔になり大いに盛り上がることができました。「読み聞かせ」では、「ねこのピート: はじめてのがっこう」という絵本を、歌を交えながら元気に読み聞かせすることができました。「的当てゲーム」では、ゆい組の皆さんが投げたボールを1年生が素早く拾い、てきぱきと手渡して、ゲームが楽しめるよう気を配っていました。お手本になるよう頑張ってくれた1年生がたくさんいて、見ていて、とても頼もしく感じました。

交流を終えて、ゆい組の皆さんからは「楽しかった」という声がたくさん聞かれました。また、1年生も「楽しんでくれて僕たちもうれい」と述べるなど、双方にとって思い出に残る時間となったようです。ゆい組の皆さんの小学校生活への期待が、ますます膨らんでくれればと思いました。

神小っ子の活躍

ショートテニス ジュニアサーキット チャレンジアキタ2024 第2戦 (12/7)

◇U-8女子 第1位 〇〇 〇〇さん (2年)

おめでとうございます!